

科目名	園芸概論	開講時期	1年生前期
		時間数	15
担当者名	園芸課: 刀禰	単位数	1
科目のねらい	多様な来歴の学生が、農作物の栽培学修に円滑に取り組めるよう、園芸作物を中心とした栽培の基礎知識を習得させる。		
到達目標	(1) 園芸作物の栽培に必要な専門用語及び基礎知識を習得する (2) 園芸作物生産の手順・流れと留意点を把握する (3) 本県園芸作物生産の概要を把握する		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 県オリジナル品種及び伝統野菜等の概要	1	担当者
	2 園芸作物の区分、分類	1	
	3 作物栽培の概要と生産の流れ	1	
	4 園芸作物栽培に関する基礎知識・技術 (環境、作型、管理、施肥、病害虫防除等)	6	
	5 園芸作物栽培に必要な専門用語等	2	
	6 園芸作物の繁殖技術の概要	1	
	7 各種資材の特性と利用方法	1	
	8 その他(補足説明等)	1	
	9 テスト	1	
評価方法	(1)筆記試験(80%) (2)受講態度(20%)		

科目名	畜産概論	開講時期	1年生前期
		時間数	15
担当者名	畜産課: 太田、農技C研究員	単位数	1
科目のねらい	畜産についての基礎的知識を習得させる。		
到達目標	畜産の現状と各家畜の特徴を理解する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 農業大学校における畜産の概要	1	担当者
	2 家畜の定義	1	
	3 家畜の分類と品種	1	
	4 家畜の一生	1	
	5 日本の畜産の沿革、日本の畜産展開の特徴	1	
	6 世界の畜産	1	
	7 家畜の栄養と飼料	1	
	8 乳肉の生産に関する要因	1	
	9 畜産物の利用(乳・肉・卵)	1	
	10 家畜糞尿処理と利用	1	
	11 中小家畜の飼養管理	2	
	12 養蜂概論	2	担当者
	13 テスト	1	担当者
評価方法	筆記試験(期末1回)(100%)		

科目名	農業気象	開講時期	1年生後期
		時間数	15
担当者名	教務課:吾郷、外部講師	単位数	1
科目のねらい	気候、耕地の気象環境、大気環境や自然災害などを学び、農業現場における農業気象の役割について理解させる。		
到達目標	①農業気象に係る基礎知識を習得する。 ②気象と農業生産の関連について理解を深める。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 農業に役立つ気象情報について	2	外部講師(気象台) 外部講師(山口大学)
	2 地球温暖化と農業	2	
	3 農業気象災害の実際	2	
	4 気象と施設園芸	7	
5 リモートセンシングの利用	2		
評価方法	レポート(80%)、受講態度:20%		

科目名	農業簿記	開講時期	2年生通年
		時間数	30
担当者名	就技室:原	単位数	2
科目のねらい	農業経営体における会計の必要性と複式簿記の基礎理論を理解する。また、演習を通じて農業簿記の記帳技術を習得させる。		
到達目標	(1) 貸借対照表と損益計算書の構成と内容を理解する。 (2) 日常の記帳事務、決算処理事務を習得する。 (3) 農業簿記3級を取得する。		
授業計画	授業内容	時間数	講師
	1 農業会計の特徴と必要性	1	担当者
	2 貸借対照表と損益計算書	1	
	3 仕訳の意味と方法	6	
	4 減価償却費資産の意味と記帳	6	
	5 記帳方法(仕訳伝票、元帳)	4	
	6 残高試算表の意味と記帳	2	
	7 決算処理・決算書作成とその見方	6	
	8 その他(パソコンを利用した記帳、消費税について 等)	2	
8 筆記試験(前・後期)	2		
評価方法	筆記試験(前期1回、後期1回):80%、講義への意欲・態度:20%		

科目名	農畜産物流通概論	開講時期	1・2年生後期
		時間数	15
担当者名	園芸課:藤本、農技C研究員、外部講師	単位数	1
科目のねらい	農畜産物の流通・市場を取り巻く環境や実態、県施策の取り組みを把握し、現場レベルでの取り組み等を通じて、今後のマーケティングのあり方を習得させる。		
到達目標	(1) 流通の機能と役割、県内の主要作物の流通体系を理解する。 (2) 流通に関連する諸制度、法令等を理解する。 (3) 流通の今日的課題及び対処方法を理解する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 流通の機能と役割(用語の理解)	2	担当者 外部講師
	2 青果物の流通	1	
	3 米の流通	2	
	4 畜産物流通	1	
	5 流通事例調査(青果物)	2	
	6 流通事例調査(畜産)	2	
	7 マーケティング論	2	
	8 食品表示の概要と関連法令	2	
	13 筆記試験	1	
評価方法	(1)レポート(20%) (2)筆記試験(80%)		

科目名	土壤肥料概論	開講時期	1年生後期
		時間数	15
担当者名	就技室:中野	単位数	1
科目のねらい	土壤と肥料、堆肥の基本事項を理解し、適切な土壤管理と施肥管理手法を習得させる。		
到達目標	(1) 土壤に関する基本事項を理解する。 (2) 肥料、堆肥に関する基本事項を理解する。 (3) 施肥と排水対策の基本事項を理解する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 土壤の役割	1	担当者
	2 様々な土壤	1	
	3 植物に必要な養分	1	
	4 養分欠乏のいろいろ	1	
	5 肥料の種類と役割	1	
	6 施肥設計の考え方	1	
	7 簡単な土壤分析	5	
	8 堆肥の役割と使い方	1	
	9 排水対策	1	
	10 復習	1	
11 試験	1		
評価方法	(1)筆記試験(80%) (2)受講態度(20%)		

科目名	作物概論	開講時期	2年生通年
		時間数	30
担当者名	就技室:柴崎、福田副校長、農技C研究員	単位数	2
科目のねらい	水稲、麦類、大豆等の生産と栽培管理についての知識を習得させる。		
到達目標	(1) 水稲の生産と栽培管理、水田の土づくり等の知識を習得する。 (2) 麦、ダイズ、特用作物の生産と栽培管理の知識を習得する。 (3) 水田農業をめぐる新たな動き、新技術等の知識を理解する。 (4) 農業気象、農薬使用等の基礎知識を習得する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 水稲の生産概要と栽培管理 (1)生理生態 (2)品種の特性、育種 (3)播種、育苗、田植え、直播 (4)生育診断、本田管理 (5)成熟、収穫、調製 (6)土づくり (7)米の加工、文化	12	担当者
	2 麦類の生産概要と栽培管理 (1)生理生態、栽培管理、成熟、収穫 (2)成熟、収穫、調製	4	
	3 大豆の生産概要と栽培管理 (1)生理生態、栽培管理、成熟、収穫 (2)成熟、収穫、調製	4	
	4 水田農業の組織化、法人化等について	2	
	5 スマート農業等について	4	
	6 農業気象、農薬の使い方等について	4	
評価方法	筆記試験(100%)		

科目名	選択演習(ドローンの活用)	開講時期	2年生通年
		時間数	20
担当者名	就技室:河村、外部講師	単位数	1
科目のねらい	ドローンに関する基礎技術習得を通して、農業へのスマート技術の活用方法を学ぶ。		
到達目標	ドローンに関する基本的な知識・操作技術を習得する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 ドローンに関する基礎知識	2	担当者 外部講師
	2 ドローンの基本的な操作方法	10	
	3 ドローンの具体的な活用法	8	
評価方法	(1)レポート(60%) (2)受講態度(40%)		

科目名	選択演習(6次産業化)	開講時期	2年生通年
		時間数	20
担当者名	教務課:星野、吾郷、外部講師	単位数	1
科目のねらい	農業現場において活用できるよう6次産業化に関する基本的な知識・技術を習得させる。		
到達目標	6次産業化の取組に対する考え方、知識を習得する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 取組テーマの設定	2	担当者 外部講師
	2 商品づくり・デザインに関する考え方について	8	
	3 現地取組事例の視察(取組農家、加工業者)		
	4 商品のコンセプトづくり	8	
	5 商品づくりの実施(加工業者・量販店等との協議含む)		
	6 商品評価、まとめ	2	
評価方法	(1)レポート(80%) (2)受講態度(20%)		